

けやきだより

社会福祉法人みらい



今月号の写真

『虐待防止のために続けてきた話し合い』

令和5年度が終わり、新しい年度が始まりました。そこで令和5年度の取り組みを一つ振り返ります。この1年は虐待防止のために話し合いを続けてきました。どのようなことが虐待になるのかの研修や、そのままでは虐待につながる事例などを学び、職員の意識を変える努力を続けてきました。また、毎日の職員自身の行動や思いを振り返るチェックシートを退勤時に付け、少しでもストレスに感じるなどがあれば話を聞く機会を作るなどして、モヤモヤした気持ちをためこまない工夫もしてきました。

それでも利用者も職員も同じ人間同士、時にはカッとなってしまうことが無い訳ではありません。しかし、障害福祉のプロの支援者として、各職員がしてしまったことをそのまま表現してしまう事のないよう、今後も学びを続け、職場の風通しを良くし、絶対に虐待事案を起こさないために日夜努力を続けていきます。

生活介護事業所合同発表会を行いました。

3月29日に第3けやき・第4けやき合同で展示会・販売会を開催しました。例年は第4けやきのみでの開催でしたが、今年度は第3けやきも合同での開催をさせていただきました。第3けやきでは利用者さんの作品展示や活動の様子の写真展示を行いました。工作やお昼休みの時間などにコツコツと作り上げたこだわりの作品がずらりと並んでいました。また、お手製の台を作り、射的ゲームなども行いました。



第4けやきでは、前年度同様、手芸クラブ、工作クラブ、園芸クラブの展示と手芸作品の販売を行いました。



工作クラブでは、オセロや絵合わせのような来場者に遊んでもらえるようなものを準備しました。ゲームの景品として、ステンドグラス風のオブジェを渡しました。このオブジェも工作クラブの中で、コツコツと作りました。来場者のゲームの相手やゲームの説明、景品を渡したりと、利用者主体で行うことができました。手芸クラブでは販売会に加え、寄付して頂いた布を使って、SDGsに取り組み、エコバッグを作りました。また、第3けやき・第4けやきで2名ずつ個人発表も行いました。ロボット作りや実演販売、書道発表を行いました。来場者に見守られながらの発表となり、緊張しながらも自信を持って発表する姿が印象的でした。



他にも第3けやき・第4けやき合同で、3つのグループに分かれ、音楽発表を行いました。1つ目のグループは「パプリカ」「小さな世界」を演奏しました。トップバッターということもあり、緊張した様子も見られましたが、いざ演奏が始まると、練習通りにマイクに向かって大きな声で、自信を持って歌うことができました。



2つ目のグループは「ジャンボリミッキー」「さんぽ」を演奏しました。ジャンボリミッキーは手作りの耳をつけてダンスを披露しました。さんぽではピアノや太鼓を使って一緒に演奏する利用者さんもいて、演奏にも迫力がありました。3つ目のグループは「幸せなら手をたたこう」「365日の紙飛行機」を演奏しました。このグループはドラムで演奏を希望する利用者さんもいて、見た目からもバンドのような雰囲気になっていました。幸せなら手をたたこうではお客さんも合わせて手をたたいてくれ、一体感のある演奏になっていました。

最後はみんなで「にじ」を演奏しました。音楽発表に参加したメンバー全員の演奏となり、展示会・販売会を締めくくるのにふさわしい演奏になりました。



した。2カ月近く一生懸命練習した成果を、保護者の方や法人の他利用者さん、職員に見てもらえて、とても満足そうな利用者さんの姿が非常に印象的でした。

今回、合同開催という新しい試みであり、スケジュールが押してしまうなど、課題も残りましたが、利用者さんが一つの目標に向かって、一丸となって取り組める良い機会になったのではないかと感じています。何より、ご来場いただきました皆様には深く御礼申し上げます。来年度以降もより良い形で開催できるようにしてまいります。

第3けやき職員 うえだ

第4けやき職員 わたなべ



事業所紹介 CSポート

突然ですが、好きな物やおいしい物を食べると、気持ちが明るくなったりストレス解消になったりしませんか？ 私たちのグループホームでは、毎日暖かい食事を提供しています。食事は日々の楽しみになります。また、私たちの体は、食べた物から栄養を吸収して動いています。そんな大切な食事について、今日は私たちの取り組みをご紹介します。



現在グループホームは7ヶ所あります。これまでは、食事の献立を決め、各ホームに勤務する職員がそれぞれに残っている食材などを考えて調理していました。ホームごとにオリジナル性があり、それはそれで楽しい食事になっていたかと思えます。



しかし、ホームごとの違いは、良い面もあれば、公平ではないと捉えることもできます。ホーム間の差異をなくし、よりおいしい食事が提供できるように、私たちは食事の在り方について検討しました。



まずは管理栄養士監修の献立を各ホームで作るところからスタートしました。今までになかったメニューが増えたり、新しい調味料を使ったりして、食事はだいぶ変わりましたが、利用者さんからはおいしいという声が聞かれています。必要なカロリー、たんぱく質や脂質、ビタミン・ミネラル等の栄養素がバランスよく含まれた食事は、健康的に生活するには必要不可欠です。さらに、今後はさらなる改善を行い、法人内の栄養士が作った献立で食事を提供する予定です。食べる楽しみ、健康であることの喜びなど、食の大切さを利用者さんたちに伝えていけると良いと考えています。

CSポート職員
やまもと

利用者紹介
みらいの輝人
～キラビト～

ほっとスマイル
伊藤 雄亮さん

雄亮さんは瞬きでコミュニケーションを取ります。

生活介護を利用されて1年が経ちましたので、振り返りをした内容から雄亮さんを紹介します。

雄亮さんは外出が好きです。公園散策など外出しましたが、中でも買い物のお話をした時には沢山瞬きをされていて特に楽しかったようでした。クリスマス会ではプレゼント交換をしましたが、そのプレゼントの買い物では相手の利用者さんに合いそうなものを職員と一緒に考えて店内を何周もして、雄亮さんの贈りたいものを探して買い物ができました。



雄亮さんは作業も頑張っています。好きな作業はメモ用紙の穴あけ作業です。職員と一緒にパンチを押します。軽い力で押すので一度にたくさんはできませんが、少しずつ根気よく前向きに取り組んでみえます。給料を受け取る時にも沢山瞬きをされて、ご家族からも家でも嬉しそうに

されていると伺いました。給料への思いをたずねると、「給料は欲しい」と答えられて作業への意欲につながっていると感じました。

雄亮さんのやりたいことは外出とおやつ作りです。雄亮さんに合った外出先やおやつ作りを今後も提案していきたいと思います。

今回の振り返りで、雄亮さんが意思を伝えてくれたことで全てではないですが、思いが受け止められたのではないかと思いますし、その思いは大事にしていきたいと感じました。

また、雄亮さんの明るい表情に職員は笑顔になり、元気をもらっていることも再確認できました。

これからも雄亮さんの頑張る姿や明るい表情を見せてもらえたらと思います。

ほっとスマイル職員 きむら





事業所活動紹介

親睦会を開催しました。

今年度から各事業所の取り組みとして親睦会を開催しました。けやき、けやき可児は3月20日に、第2けやき、第3けやき、第4けやきは2月23日にそれぞれ開催しました。



「日頃の様子がよくわかって良かった」、「食事を摂りながら気軽に職員さんと話しができて良かった」、「今後もこういった機会を作って欲しい」という感想をいただきました。今回が初めての開催でしたので準備不足の面があったかもしれませんが。来年は各事業所がさらに趣向を凝らした親睦会を開催し、利用者、保護者、職員、皆が有意義な時間を過ごせるようにしていきたいと考えています。

課長 すぎの

各事業所で昼食を用意して、利用者、保護者、職員が食事、歓談を楽しみながら、1年の間に取り組んできたことを発表したり、スライドを使って写真や動画で振り返ったりしながら、アットホームな雰囲気の中で、日頃感じていることを率直に意見交換することができました。中には後見制度についての勉強会を行う事業所があったりと、各事業所ごとに特色のある親睦会を実施することができました。



また、4月からの新規利用者さんにも参加していただき、歓迎会を開催することができました。



Sさんを偲んで

Sさんは仲間思いの方でした。グループホームではよく他の利用者さんとも話をしたり、トランプで遊んだり、悩みや不満の相談も聞いてくださっていました。透析を受けている関係で体調が優れない中でも、他の利用者さんが食堂に集まると、声をかけてくださっていました。

また、工作や物作りが好きで、グループホームの自室やトイレに飾り付けをしてくださり、グループホームを華やかにしてくれていました。歌を唄うことも好きで、自室からよく歌が聴こえてきて、グループホームを賑やかにしてくれていました。



最近、透析の影響で体調が悪くなる事が多くなり、行えていませんでしたが、料理作りもお好きで、よく食事作りの手伝いをしてくれました。他にも勉強熱心な方でしたので、自分の病気である慢性腎不全についての本を読んだり、自分が治療を受けている透析の本を読むなどをして、自己研鑽を欠かさない方でした。そして将来は1人暮らしをされるのが夢でした。その為にグループホームでは休日に料理をしたり、自分のお部屋を掃除するなどして、自分の夢である1人暮らしに向けて頑張っ

てくれました。

1月10日（水）に体調が急変してお亡くなりになりましたが、前日まではいつもと変わらない様子でお話をされており、亡くなられた話を聞いた時は、ホームの職員一同信じられない気持ちと悲しい気持ちで一杯になりました。他の利用者さんにSさんの訃報をお知らせした時も皆さん悲しい表情や動揺した表情を見せており、改めてSさんがグループホームでどれだけ大きい存在であったかを知ることができました。

3月4日（月）にお別れ会をけやきで行いました。たくさん利用者さんや職員が集まり、Sさんとの思い出を偲びました。

心よりご冥福をお祈りいたします。

Sさんの法人での歩み

2010年4月～ けやき利用開始

（ダンボールプレス、クリーニングなど）

2015年10月～ グループホーム入居

2024年1月 永眠

CSポート職員 ふくい



～お別れ会での献花（折り紙）～

寄付等頂いた皆様の紹介

ご寄付をいただいた方

根本外科医院 三島吾朗
けやき保護者会



ボランティアをして頂いた方

笠瀬 美里 林 冬美
(順不同、敬称略)

※ボランティアをしていただいた笠瀬様と林様は、長年けやきの弁当配達を行っていただきました。その弁当配達も昨年度で終了しました。この場をお借りしてお礼申し上げます。長年の配達、ありがとうございました。

キャラバンをご寄贈いただきました。

日本財団様より、ほっとスマイルに車いす用リフト付きキャラバンをご寄贈いただきました。

利用者の送迎用として大切に使用させていただきます。誠にありがとうございます。



編集後記

今年の春は慌ただしく過ぎていきました。春の象徴である桜も、陽気に誘われあっという間に満開になり、散っていきました。障がい福祉分野も3年に1回の法律の改正により、変更されたり新規創設された点が多く、その対応に管理職が追われていたようです。しかし、現場の利用者や職員は何か追われることなく、作業や活動に勤しんできました。さて、そんな中でも新しく利用を開始される方々も通所を始められたり、社会福祉協議会主催の絵手紙コンテストで法人利用者の何人かが賞を頂いたり、うれしいニュースもありました。

今後もうれしいニュースの多い年になるよう願います。

課長 かとう

社会福祉法人みらい けやきだより第44号

発行日 2024年4月
発行者 社会福祉法人みらい事務局
〒507-0827岐阜県多治見市平和町6-364
TEL 0572(22)1011



法人ホームページはこちらから